

オンラインを通じたスポーツの取組み

—No.28 久喜市—

【事業の目的】

コロナ禍における通常のイベント開催方法では運営が難しい中、オンラインという特性を生かし、運動する機会の提供を今できる形で提案したものです。

あわせて、実際には久喜市まで来ることのできない方にも、オンラインでの取組みを通じてつながってもらいたいという狙いです。

【事業の内容】

1. 久喜オンラインマラソン

スマートフォンアプリを活用し、指定した期間内に、指定した距離を走ってもらうイベントを開催しました。特徴として、①走るコースの設定はしない、②参加者は集まらずそれぞれが自由に走る、③新型コロナウイルス感染症対策を考慮したイベントとして開催ができる、といった内容です。

2. お家でトレーニング You Tube 他 SNS での動画配信

家の中でもできる運動の動画を配信し、運動不足の解消等を図りました。内容としては、「14日間にわたって行うスキマ時間の1分ストレッチ」、「市内のトレーニングジムのインストラクター協力の下くき親善大使と一緒に体験する HIIT トレーニング」といったものを作成しました。作成した動画は YouTube のほか、Twitter、Instagram に投稿し多くの方にご視聴いただきました。

3. Zoom を活用したオンラインスポーツイベント

会議ソフト Zoom を活用して、指定の場所に集まらなくても、自分の好きな場所からイベントに参加できる仕組みを構築しました。①初心者でもできる空手トレーニング（10月）、②考案者に学ぶ！クッキーダンスをカッコよく踊るコツ（12月）の2回実施しました。

【事業年度】

令和2年度

【予算額(千円)】

1. 久喜オンラインマラソン
4,500千円（実行委員会への補助金）
2. 動画編集用パソコン、ソフトウェア
297千円（9月補正で予算措置）
3. 予算なし

【財源】

一般財源（市）

【事業実施に至った背景・経緯】

令和2年度は、まさに新型コロナウイルス感染症対策の1年となり、いまだ感染拡大は終息に至っておらず今後の状況が見通せない状況です。また、緊急事態宣言をはじめとする様々な影響により家で過ごす時間が多くなり、運動をする機会が激減した社会情勢が続きました。

そのような中、少しでも現状を解消し、新しい生活様式が求められる中でも実施できる、今できる形でイベントを検討しました。

【事業のPRポイント】

コロナ禍の影響で、次々と中止になっているスポーツイベントですが、オンラインでの開催によって従来とは違った楽しみ方ができるようになりました。

久喜オンラインマラソンでは、特定の会場やコースを走らず、時間や距離などをランナー個人が決めて走り、大会終了後には大会走行証が発行されました。さらに、地元の特産品や由来のものを大会賞品とするなど、初めてマラソン大会に参加される方に参加してもらいやすい設定を考えました。

また、YouTubeやZoomといったツールを用いて、オンラインでのスポーツ体験講座などを開催しました。家にいながら体験できるため、通常開催時よりも参加してもらいやすい講座を開催することができました。

【事業実績・成果・今後の展開】

久喜オンラインマラソンは、令和2年12月10日（木）～23日（水）の14日間で開催し、全国各地から900名を超えるランナーに参加していただ

きました。また、久喜市の銘菓や特産品などの PR をすることができました。

動画配信及び Zoom イベントでは、併せて延べ 11,625 人（令和 3 年 2 月 14 日現在）の視聴があり、家での運動不足対策に寄与することができました。

【参考資料】

○久喜マラソン公式ホームページ

<https://www.kuki-marathon.com>

○久喜市のスポーツ情報を発信するインスタグラムのアカウント

https://www.instagram.com/kuki_sports_info

〔 連絡先 〕

スポーツ振興課 スポーツ企画係・スポーツ推進係

0480(22)5555（内線373, 376）